

# 令和6年度事業計画

円福寺愛育園 園長 藤本光世

## 1. 事業運営方針

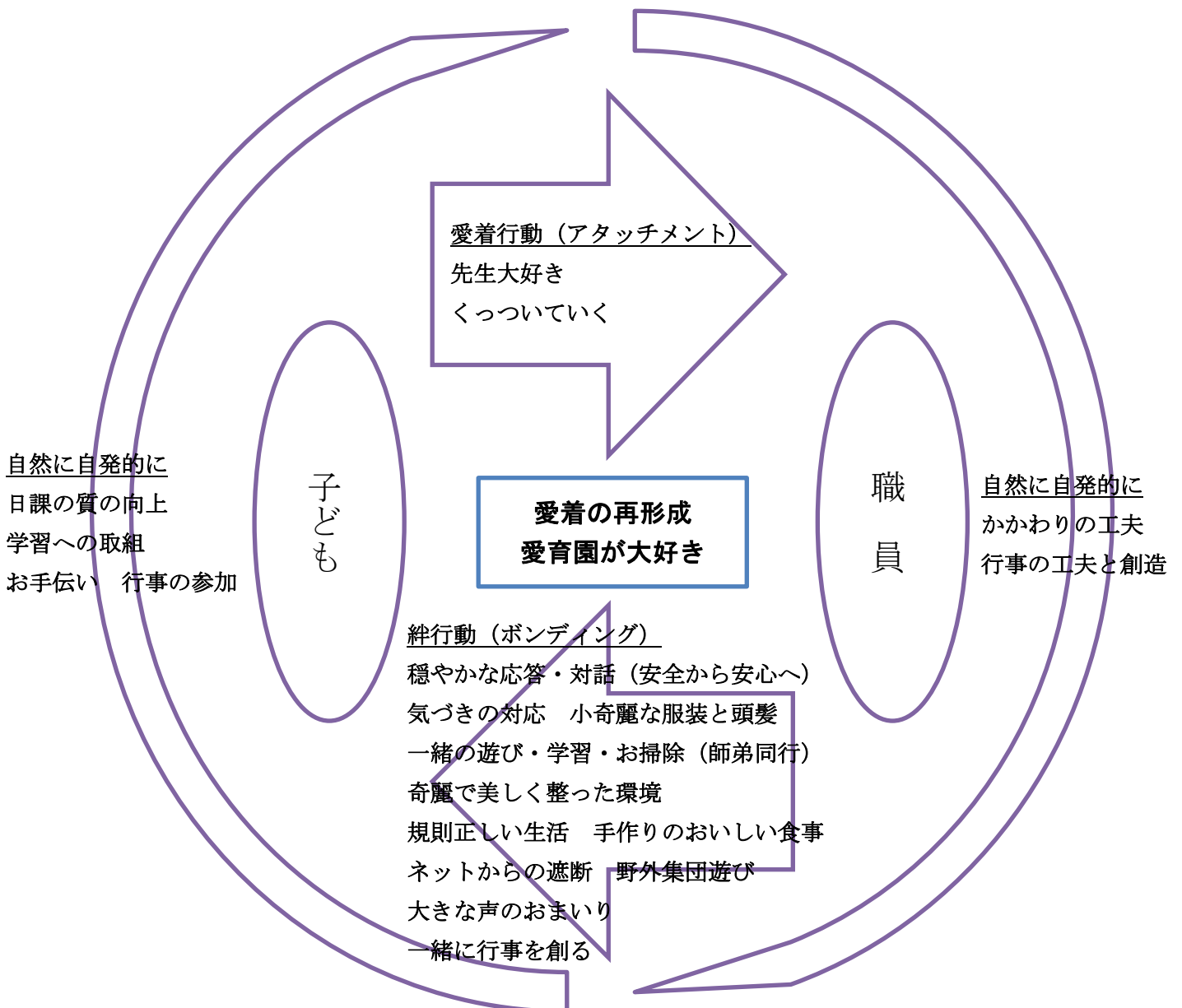
### 1. 円福寺愛育園児童養育の目的

円福寺愛育園は、発達障害児を含めたどんな児童も受け入れ幸せにする。

### 2. 養育の心

慈悲心 おもいやりの心 慈悲の心は自他一如

子どもの悲しみや苦しみを理解し、暴言や不適切な行動に対応して除去する



3. 円福寺愛育園の児童養育の目標 … 自立  
高校に進学して自己を伸長させ、自立の力をつけて卒業し、就職または進学する。  
就職後は継続して勤め自立する。
4. 養育方針 集団養育の特長を生かす
  - (1) どんなことも報連相（職員同士、職員⇄ホーム長） 開かれた養育
  - (2) 一致した方針の集団指導 一人ではできないことも集団ならできる

## 2 重点事業

1. 児童の安全確保、権利擁護、施設内虐待未然防止
2. 児童の発達に応じた養育の推進
3. 児童の心理療法の充実
4. 職員の資質向上・チームケア体制の実践確立
5. 学力向上
6. 家庭復帰の促進・家庭支援の充実
7. 里親委託の推進
8. アフターケアの推進
9. 地域貢献

## 3 養育の具体

1. 施設内虐待はさせない。行わない。  
年度当初に自筆による「誓い」を提出します。  
職員相互で児童に対する不適切なかかわりを防止します。ホーム長は児童虐待防止係主任を兼ねて、職員の養育の責任者となるとともに、子どもたちの様子にアンテナを張って、力による指導や不適切な指導は小さな芽のうちに摘みます。  
威圧、強要、暴力、暴言、差別で子どもを指導しません。児童間で威圧、強要、暴力、暴言、差別等をさせません。力のピラミッドは、小さな芽を見逃さずにつぶします。
2. 生活指導  
規則正しい日課を通して基本的な生活習慣を確立します。  
児童の発達に合わせ対話を重視した個別指導を行うとともに自治会等の活動を支援して、行事等の自主活動の活性化を図り、共助、共育の生活をします。  
職員は空間的、時間的な死角の把握に努め、それを共有してチームワークで死角をなくして生活指導上の問題を事前に防ぎます。  
力のピラミッドの些細な気配を察して、指導を入れて壊します。  
問題行動をチャンスととらえ、直ちに対応し、粘り強い対話と指導に努めます。一旦言い出したことは改善するまで指導し尽くします。
3. 人間関係づくり  
行事や日々の集団遊びや個別遊びを職員は子どもと一緒に積極的に行い、子どもとの人間関係をつくります。人間関係が、子どもに言葉が入る基礎になります。  
地域の自然や公園を利用して子どもたちを連れ出して思いっきり体を動かすとともに

豊富な自然体験をさせます。

誕生日には、希望する誕生日メニューとともに担当から児童にお祝いのお手紙を送り、全員で祝います。

#### 4. 発達障害児

研修等で発達障害児の特性を理解して、指導に対する暴言には冷静に対応します。慈悲心を憐れみをもって子どもを理解し、攻撃的な子どもへの対応が職員の成長と幸せに結びつくことを信じます。

#### 5. 学習指導

遊びや行事に熱中することが、学習への意欲を引き出します。

日課の中で学習習慣を確立して基礎学力の向上を図ります。

学習遅滞児や特別支援学級児に対して、学校と連携してきめ細かな指導を行います。

#### 6. 自立の支援

卒園後の「夢」を意識させ、生活に目的を持たせます。年長児にはアルバイトを積極的に支援して、自立のための力をつけ、資金を作ります。高校三年生には、奨学金の申込み、就職先等の決定、免許取得、アパートの決定、アパート生活の助言など、具体的できめ細かに支援します。

#### 7. アフターケア

退所児童の退所後も必要に応じて訪問・面接等を行い、円福寺愛育園が大きな家族であるように、生活や悩み事等の改善ができるように支援します。

また、退所後自立した児童にとって円福寺愛育園は家庭の役割を持つことに鑑み、困った時や躓いたとき等に、いつでも帰って気軽に相談できるよう、相談体制の充実を図ります。

高校生にはお弁当作りを経験させて、自立の支援とします。

#### 8. 日課

規則正しく、予測できる日課（特におまわり）は子どもの心の健康を満たします。

園児が自から進んで日課に取り組み質を高めるように支援します。

#### 9. 行事

集団生活の利点を生かします。そして、行事は前年の経験を活かし、新しい内容を加味して最高のものを創り上げます。職員と児童が協力し、全力を尽くして、園の最高を発揮します。準備の過程で、仲間づくり、創造、必要物品調達購入、食事づくり、後片付け、助け合い、おもしろい、困難に立ち向かう心等を育みます。

行事で心を満たし、それが日課（普段の生活）に反映するようにします。

#### 10. 自治、自治会

生活の中の子どもの言動や子ども同士の関係を、子ども自身で考えさせます。

リーダーを育成して、子どもたちの力で行事の準備をして、行事を充実させます。

#### 11. 食育

初代園長の言葉の「調理は愛なり」で食育に当たります。心身が健全に発達し、一人一人が年齢・能力に応じた望ましい食習慣を身につけるようにします。ホーム食やキャンプなどでは買い物、調理、片付けを通して、食育支援を行います。調理職員と子

どもたちの絆を強めます。

調理員と直接養育職員は毎月検便を実施し、衛生管理を徹底し、衛生講習を実施する等食中毒防止に努めます。様々な調査を踏まえ、楽しい食事になるように努めます。

食堂の環境に配慮し、季節感のある窓面、壁面をつくります。

誕生日には、その子の希望のお料理を全員で食べて祝います。

季節の食材を生かし、日本の伝統行事のお料理を心を込めてつくり、子どもたちに提供します。

## 12. 社会資源の活用

希望者にはピアノ教室、書道教室等に通わせ、持っている力を伸ばします。

西横田育成会や篠ノ井中央地区運動会に参加して、地域との交流を深めます。

## 13. 円福寺愛育園の資源と施設を使った社会貢献・奉仕活動

愛育園祭、愛育園運動会、地藏盆、箸技大会を主催して地域の皆様や関係者を招待し、交流の場にします。

西横田PTA節分会、交通安全教室、クリスマス会等に施設を開放し、地域の子どもたちと交流するとともに、地域の行事に貢献します。

敬老会で歌などのプレゼントをして喜んでいただくとともに、喜んでいただけることの喜びを体験します。

雪が積もったら愛育園前の西横田大通りや駐車場の雪かきをして、地域に貢献します。

西横田下水掃除には中高生男子が率先して参加し、蓋上げなどの力仕事を手伝います。

## 14. 篠ノ井地区や西横田行事への参加

篠ノ井中央地区運動会、虫送り、しめ縄づくり、どんど焼き、区民運動会、文化祭等に積極的に参加し、地域に貢献するとともに、地域の皆様と交流します。

## 15. 仏教行事

三佛忌のお花まつり、成道会、お涅槃会などの仏教行事を行い、お釈迦さまへの感謝の信仰の心を醸成します。

## 16. 小学校、中学校との懇談

通明小学校、篠ノ井東中学校と毎年一度の懇談会を主催して、子どもの情報を共有し、先生方との関係を深めます。子どもの生活の場を見てもらい、愛育園への理解を深めます。食事を一緒にしてもらって、子どもたちと交流します。

## 17. 環境美化、整理整頓

環境美化は子ども達の心を美しくする基本です。職員は常に環境美化と整理整頓に心がけます。積極的に環境美化や清掃に取り組み、師弟同行で清掃等を行います。

毎週土曜日には、公用車の洗車と管理棟の清掃をします。常に美しい公用車にするとともに公用車への感謝の気持ちを表します。お客様への感謝の気持ちを美しい玄関や下足箱の清掃で表します。

## 18. 防火・防犯・防災

避難訓練を実施して、いざという時の素早く安全な避難につなげます。(毎月)

地域の避難施設として、地域と連携して避難訓練を行います。(年に一度)

円福寺愛育園独自の総合避難訓練を実施します。(年に一度)

#### 19. 開かれた施設

月刊「おもいやり」を発行し保護者、学校、児相、県、西横田各家、支援者はじめとしたすべての関係者に配布し、園の活動や子どもたちの様子を知らせます。保護者へは担当が子どもの様子を書いた手紙を添えて、「おもいやり」を届けます。

民生児童委員等の見学を積極的に受け入れます。

ホームページには、会計報告等を掲載します。「おもいやり」や子どもの近況等を随時掲載します。見学会・インターンシップ・求人情報のページを充実させて、応募に結び付けます。

#### 20. 苦情解決の充実

第三者委員と連携して、苦情は小さなうちに解決します。職員は子どもの表情から心を見抜き、対話に努めて子どもの悩みを解決します。第三者委員には行事のご案内を送り、子どもたちの様子を観ていただきます。

#### 21. 第三者評価

三年に一度の第三者評価を受審して、その結果を愛育園の経営に生かします。不実施年は自己評価を実施します。

#### 22. 愛の花園

一年間の実践の記録の冊子「愛の花園」を作成します。内部資料として、事業報告や翌年の実践に生かします。実践を積み上げ、振り返られるようにします。新任職員は愛育園の養育を理解します。第三者評価や自己評価の結果も掲載します。

### 4 積極的な職員採用と育成

#### 1. 福祉の職場説明会 見学会とインターンシップ 職員採用

福祉の職場説明会に積極的に参加し、愛育園の養育を知ってもらい、見学会インターンシップにつなげます。

見学会を実施して、大勢の学生が当園を知る機会をつくります。土日にインターンシップ（日帰り又は宿泊）を実施します。見学会をインターンシップにつなげ採用試験の応募を増やします。

採用試験は、書類選考、面接として受験しやすくします。

#### 2. 開かれた養育と集団養育 OJT

中舎制園舎の特長を生かして、お互いの養育を開きます。ホーム長の養育方針のもとで一致した方針で子どもを育てます。実践の中で職員は学び、養育力を高めます。庶務や調理職員も直接支援職員も互いに助け合って子どもたちを養育します。

#### 3. ホーム会議と職員育成

職員会の開催日の午前中にホーム会議を設定します。日々の子どもの行動を具体的に出し合い、対応を話し合います。発達障害等の児童の養育については、関係する本を読んで児童の具体的な行動に照らし合わせ、職員会を研修の場とします。話し合いや、研修で職員の養育力を高めます。

#### 4. 職員会議と職員育成 方針の周知 一致協力

園長は、国の社会的養育方針を理解し、園の将来像と養育方針を職員に示します。ま

た、児童の養育についてもホーム長と対話をもとに、方針を示します。

ホーム長はホーム会議の内容と指導方針を全職員に周知します。全職員は子どもの状況を理解し、一致した方針で子どもを養育します。

調理主任は調理方針を周知して一致した方針で心を込めた調理をつくります。

庶務は職員が働きやすいように気を配り、会計は絶対に間違いを起こさず、先を読んで仕事をします。

職員会議を通して、お互いに理解して、力を合わせて一致した方針で子どもを育て、養育力を高めます。

#### 5. 引継ぎ会と職員育成

9時（朝）と14時（昼）に引き継ぎ会を開きます。

職員は引き継ぎノートに児童の帰園後の様子や、児童にした指導や対話の内容を具体的に記載し、朝の引継ぎ会で報告します。記載できない就寝から朝の登校時までの様子は口頭で報告します。園長は報告内容について質問し、理解し、確認して、必要な指導を加えて昼の引継ぎ会につなげます。昼の引継ぎ会では、朝の引継ぎ会の内容を含めて、引継ぎノートの内容を遅番と泊りの勤務職員に伝えます。遅番と泊りの職員は、引き継いだ内容を受けて、子どもたちを指導します。こうして、引継ぎ会を通して職員は連続した指導を連携して行います。職員は連続連携指導の輪の中に加わることによって養育力を高めます。

#### 6. 研修と職員育成

発達障害等の特性を抱えて入所する児童の増加を踏まえ、職員各自が研修を深めます。オンライン発達障害研修講演会を視聴できるように設備を整えて、全員で聴講します。発達障害関係の本を購入し、必要なものは職員全体に配布して、各自が読書して養育力を高めます。

必要な研修は取り入れ、養育力を高めます。

### 5 令和6年度行事

	全体行事	調理行事・ホーム行事
毎月	避難訓練	お誕生日会 誕生日外食
随時		ホーム食 バーベキュー・ステーキ等 行事 キャラ弁
4月	始業式 新任式 初顔合わせ会 施設見学会	入学進級お祝い
5月	善光寺ウォーキング 創立記念日 母の日	よもぎ団子づくり
6月	父の日	端午の節句
7月	七夕まつり 臨海行事 キャンプ準備	七夕メニュー 土用丑の日

8月	キャンプ お盆行事	お盆メニュー
9月	運動会	お彼岸団子おはぎ
10月	愛育園祭準備 愛育園祭	
11月	七五三 大本山研修	焼き芋大会
12月	初代園長御命日 イルミネーションづくり 消防署指導避難訓練 クリスマス行事	御命日メニュー クッキーづくり クリスマス お餅つき
1月	初詣 大黒天大祭 お正月行事 箸技大会	おせち料理 七草がゆ 鏡開き
2月	国際箸学会箸技大会 スキー行事	バレンタインチョコづくり
3月	お涅槃会 卒園式 春休み行事	ひな祭りメニュー お別れ夕食会 涅槃会やしょうま 受験応援メニュー 卒園お祝メニュー 彼岸おはぎ 手打ちそば

### 合同・外部行事

	地域との合同行事	学校・外部・ボランティア行事
4月	交通安全教室	入学式
5月	花み堂づくり お花まつり(釈尊降誕会) 中学校との懇談会	小学校運動会
6月		
7月	小学校との懇談会	
8月	虫送り 地蔵盆	
9月		
10月	篠ノ井中央公民館運動会 PTA 遠足 区民球技大会 西横田区文化祭	
11月		小学校音楽会
12月	しめ縄づくり クリスマス会	クリスマスケーキプレゼント
1月	しめ縄集め どんど焼き	
2月	節分会	国際箸学会箸技大会 茶道体験
3月	児童会歓送迎会	卒業式